

郷土の宝「山高神代桜」を後世へ

実相寺の境内にある「山高神代桜」は樹齢約2000年。日本三大桜の一つで、国の天然記念物にも指定されています。しかし、その神代桜も樹勢が衰え枯死の危機に陥り、2002年から4年をかけて、樹勢回復作業が行われました。その記録は「未来に残せ神代ザクラ」としてDVDに残されています。

2008年には神代桜の種は若田光一さんと共に宇宙を旅し、帰還後に発芽し育てられた苗は「宇宙桜」として注目されています。これらのプロジェクトに関する資料を収集・保存すると共に、桜に関する資料も植物・芸術・文学と幅広く収集しています。

地域の方々が神代桜を守ろうとする想い、さらに未来へと繋げる想いを、資料を通じて後世へ伝えていきたいと考えています。

(北杜市むかわ図書館 司書 齊木 紀恵子)

北杜市むかわ図書館編



『未来に残せ神代ザクラ』(DVD)(左)
『花伝説・宙へ!』(長谷川洋一・著)(右)



コレクションコーナーで桜を紹介



図書館ボランティアの

日常から



マスクをして
配架中



交互に座って距離を
とりながら本の修理

Vol.5 ボランティア活動再開

緊急事態宣言の間際にスタートした今年度。臨時休館中のため全員が一堂に会する4月の総会と委嘱式は見送りにりましたが、6月の図書館再開とともに、徐々に活動を始めました。今は、新型コロナウイルス感染防止で1時間程度を目安に活動いただいています。本の配架も修理をする時も、暑い中マスクを装着しながら奮闘するボランティアの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

(図書館協力員担当 三森)

Information 2020年度これからのイベント

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期または中止となる場合があります。

10月4日(日) かいぶらり健康フォーラム
がんフォーラム

がんの診断や治療などにおいて耳にする「ゲノム医療」や、その他様々な疑問に講演やパネルディスカッションを通して答えます。



1月24日(日) シネマかいぶらりホリデー上映会
『冬のライオン』

12世紀末のイングランド王室で繰り広げられた後継者争いの結末はいかに。権力への欲望と憎しみの涯に見えてくる真冬の景色とは。



12月13日(日) おんかくかいぶらり30
モーツァルト アンサンブル オーケストラ

1984年に東京で創立し、アンサンブルの神髄を追究する小編成(モーツァルト時代の基本形)のオーケストラによる演奏会。



2月17日(水) かいぶらり
いんどりものがたり朗読会

アナウンサーやDJ等、声のプロが所属するボイスルームが毎回テーマを決めてお届けする朗読会。ぜひ間近で味わってください。



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報
読書山梨148号
発行日 2020年10月1日

発行:山梨県立図書館(かいぶらり)

〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号
TEL:055-255-1040(代表) 255-1041(施設予約) FAX:055-255-1042
URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>
E-mail ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp

読書山梨



YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報
148
2020.10.1 発行

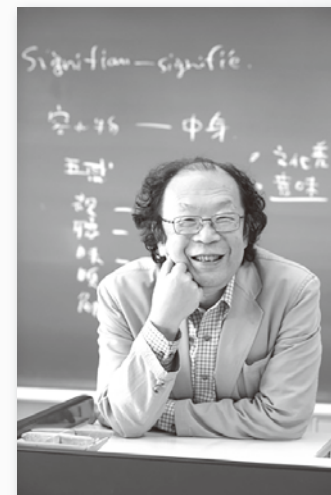
東京のもぐらもち

館長コラム

ある人から、キンダイチさんはモグラみたいだと言われ、気に入って、モグラもちを名乗ることになったのですが、今年は本物のモグラもち。コロナ禍はだれもかれもがモグラもち、特に東京者は、みんな自宅待機で自粛中、外気に触れることにも怯えて暮らしています。

それにしても山梨は立派に防疫。東京のウィルスにまみれた不潔な体を持ち込むこと決してできませぬ。山梨偉いなあ。甲府凄いなあ。

ただこのような引きこもり生活中も、本を読むことだけはできて、買っただけでふだん読めなかった本を取り出し、昔読んで半分忘れた本を持ち出し、残り少ない老後の時間を、たっぷりと楽しんでおります。ふつうに図書館が使えていた時が、どんなに恵まれたことだったのか、しみじみと思われています。こんな時期でも本は伴侶です。

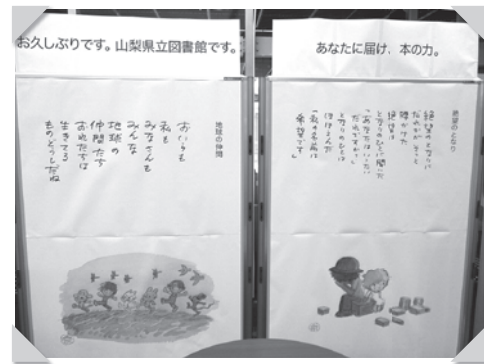


撮影/タカオカ邦彦

金一 邦彦

本と人をつなぐ

第5回 新型コロナウイルスと図書館



当館再開時に出入口に掲げられた、やなせたかしさんの詩。
「地球の仲間」(左)、「絶望のとなり」(右)

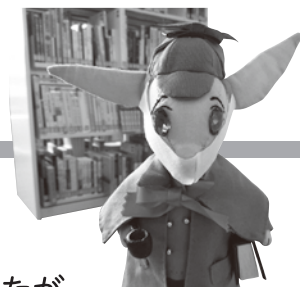
「図書館は不要不急の施設なのか」。コロナ禍で臨時休館を余儀なくされた春先、図書館職員はこの問に葛藤しつつ、人々が自分の意思で自分を育てるために必要な「知る権利」を守るために必死でした。

本との出会いは人との出会いに通じます。読書は人の心を開き、知恵を与え、コミュニティに恩恵をもたらします。読書は希望への入り口です。本を開いたその先に地球の仲間の幸せにつながる道が続いています。

これからも図書館は人々に希望への扉を開いていきます。それが私たち図書館職員の思いです。

(副館長 河手)

「新しい生活様式」 にも図書館サービスを



図書館を訪れて利用するサービスに多くの制限が生じましたが、感染対策を急ぎ利用の範囲を広げるとともに、直接来館しなくても利用できるコンテンツの拡大に取り組んでいます。



1冊1冊でいねいに消毒



アクリル板を設置(窓口の様子)



職員特製「指なめ禁止サイン」!



twitter「#ジッポのつぶやき」で
図書館案内ツアー



「○○にチャレンジ!!」。SNSでジャンルごと
のおすすめ本紹介(チラシも配布)

県民の皆さまが日々必要としている情報を、継続的に安定して提供するのが県立図書館の大切な役割です。新型コロナウイルス感染症の流行は、この当たり前の役割に大きな制約を加える結果となり、直接来館する方へのサービスを停止しなければならない事態となりました。

一方、図書館が閉館している間も、通常通り来館せずに利用するサービスは継続しており、電話やファクシミリ、メールでのレファレンスサービスやコピーサービス等については積極的な利用を働きかけ、必要であれば本の貸し出しも出来るように臨時窓口を設置しました。

特に、電子書籍は来館せずに本が読めるサービスとして多くの方にご利用いただき、閉館中の問い合わせも多く、普段の数倍利用されています。他にホームページには、ステイホームに対応したおすすめの本やDVDのリストをこれまでに作成した様々なブックリストと一緒に紹介し、さらに自学自習支援のためのリンク集として、学習に役立つ各種サイトをまとめて掲載しました。また、SNSを利用して当館のイメージキャラクター「ジッポ」による図書館案内を作成し、利用制限状況やサービス内容、施設などをもっと知ってもらうための情報発信をしています。

また、これらの利用制限の内容や最新のサービス内容については随時ホームページでお知らせし、同時に県内の市町村立図書館の運営状況をまとめた一覧や、厚生労働省を始め、多くの感染症関連サイトをまとめて掲載して状況の把握に役立つ情報提供に努めました。

6月2日からは、一部制限付きながら閲覧利用が出来るようになりました。来館者へのマスク着用の呼びかけや、サービスカウンターへの飛沫対策のアクリル板設置、館外貸し出し資料の消毒、除菌ボックスの利用など、少しでも安心して利用していただけるような感染対策を施しています。

多くの方が集まる施設として、当分の間、様々な制限をお願いしながらの運用となりますが、新型コロナウイルス感染症への感染対策をしっかりと行いながら、図書館資料の利用には制限がなくなるよう取り組みを進めています。

(司書幹 千野)

県図書TOPICS

TOPIC1

テーマ展示の報告

ロボットはヒトを超えるか!? ～人工知能(AI)で変わる社会～

2020年6月26日(金)～9月6日(日)



2階南側にある情報サテライト1で、近年発達のめざましい人工知能とロボットに関する展示を行いました。人工知能とは何かといった基本的なことから、身近にあるロボットなどの技術、人間の未来に関する話まで、約180冊の本や雑誌を並べました。20年前に比べると人工知能や新技術に関する本の出版数は倍増しており、注目されている分野であることがわかります。知識を身に付けて、機械とうまく付き合っていきたいものです。

(調査サービス担当 大平)

TOPIC2

山梨のものづくりと伝統文化 「郷土の恵み」コーナー



2階山梨関係資料コーナーに地場産業や伝統工芸の資料を紹介する「郷土の恵み」コーナーがあります。昔から培われてきた技術や産業、そこから新しく展開している事業、そこに携わる人たちの活動や想いをピックアップして展示しています。10月～12月は「和紙」、2021年1月～3月は「土木・建築」を予定しています。関連施設のパンフレットやイベントチラシなど、資料以外の紹介もしています。貸し出しもできますので、ぜひご覧ください。

(調査サービス担当 土橋)

子供と大人と絵本と幸せ

ざぶとん亭風流企画 馬場 憲一

コロナ禍ステイホームの最中にSNS上で愛読書10冊を紹介しあうムーヴメントが起き、すぐにお鉢が回って来た。さあ、何を選ぶうか。大上段に構え、人生の節目となった書籍の中から迷っていると、倫敦に住む息子家族からLINEの動画電話。「会えないから、ジイジの作った絵本を読んでよ!」孫が可愛い声で叫ぶ。そうか、当分渡英はできそうにないが、これで愛しき孫と繋がれる。これ幸いと、SNSで色んな児童書への思い出を。

さて、ここで紹介する絵本は立川志の輔・春風亭昇太等人気落語家と今をとときめく画家のコラボで実現した楽しい作品。ジイジこと不肖ババが企画編集。県立図書館さん所蔵です。ぜひ、愛するお子様お孫様とご一緒にお楽しみ下さいね。



『古典と新作らくご絵本』全10巻
(ばばけんいち・編／あかね書房)